

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。今回の研究は、対象となる患者さんか一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	高度炎症性変化を伴う憩室炎に対する待機的腹腔鏡下結腸手術の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	外科学講座（消化器外科）
研究責任者	教授（特任） 小松俊一郎
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	なし
研究の意義・目的	高度炎症を伴う憩室炎に対する待機的腹腔鏡下結腸手術の成績を検討することで憩室炎治療選択の一助となる。
対象となる患者さん	2006年1月～2021年11月の間に、当科で憩室炎に対して待機的腹腔鏡下結腸手術を施行した患者さん。
研究の方法	対象患者さんの診療情報を調査し、短期成績（縫合不全、腸閉塞、創部/腹腔内感染、その他術後合併症）を検討します。
研究期間	研究実施承認日～2022年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報：術前画像や血液検査、手術時間、出血量、術後在院日数、術後合併症、等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究の情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1日までに下記問い合わせ先まで申し出て下さい。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：助教 内野大倫 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）

